

平成24年度
平成23年度実施

事務事業評価調書

整理番号 1 - 19
作成年月日
事業区分 ☒ 継続 ☐ 新規

事務事業名 下水道維持管理事業

事業開始年度 平成20年度 住民参加 ☐ 有 関係例規・法令名
事業終了年度 平成30年度 住民協働 ☒ 無 関係個別計画名

会計区分 公共下水道事業特別会計 款 総務費 項 総務管理費 目 施設管理費

担当課 上下水道課 担当係名 下水道施設係 調書作成者職氏名 課長 安藤 晃

【第五期興部町総合計画】 ☒ 登載事業 ☐ 非登載事業 実施計画登載No 29

分類	コード	名称
基本目標	1	安心して暮らせる“まちづくり”
施策項目	4	上下水道の整備
単位施策	2	下水道事業

I. 事業計画

(1) 対象	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 公共下水道（興部）・特定環境保全公共下水（沙留）両区域内住民
(2) 手段	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 興部・沙留両処理場に関して、直営での運転・維持管理は役場の人員体制では、技術的・コスト面で の制約があり、供用開始当時より運転管理は民間委託を実施している。
(3) 目指す姿	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 両下水処理場（興部・沙留）の効率的な施設管理を進めるうえで、運転管理を初め施設全般の維持管理 が必要である。これまでの民間による委託を継続することにより処理場の安定した運転管理が図ら れると共に、今後は、人員・コスト両面の縮減に向けた検討が必要である。

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種別	内 容	区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	対象指標		目標値 実績値	人					
2	活動指標		目標値 実績値	回					
3	成果指標		目標値 実績値	千円					
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 予 算	20～24年度 合 計
事業費(千円)	0	36,634	36,276	36,566	37,595	37,409	184,480
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源		36,634	36,276	36,566	37,595	37,409	184,480

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☒ (2) 公共性が高い事業である。 ☐ (3) 緊急性が高い事業である。 ☐ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	今日、下水道は社会生活・環境面からも欠かすことのできないものとなった。処理場の正常な運転管理を目指し、民間の技術力を借りて低コストの維持管理に努めるものである。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☒ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	維持管理に関わる補助メニューなし。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☐ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	両処理場共に効率的な運転管理が望まれる中、必要最低減の維持管理を目指すものである。
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☐ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☒ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	直営運転管理が技術的・体制的にできない状況とコスト縮減等鑑み、民間委託が妥当と判断するものである。
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☒ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☐ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	供用開始以来、処理場に関しては大きなトラブルもなく汚水処理が行われている。今後も、外部委託により処理場の運転管理を実施し水質改善に努めるものである。

特記事項

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評価選択理由／今後の方向性
一 次 評 価	継 続 【現状維持】	今や下水道は住民生活はもとより、環境整備においても欠かす事のできないものである。町の体制・技術面からも委託業務は必要不可欠であり、継続事業が妥当であると判断する。
二 次 評 価		二次評価該当外

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評価選択理由／今後の方向性

☆ 評 価

- (1) 継 続 **【現状維持】** ⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続 **【拡 充】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続 **【縮 小】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続 **【統 合】** ⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの